

JC-tech

令和元年11月1日(金)

第9回 コンクリート技術交流会

主催：日本コンクリート技術株式会社

第9回コンクリート技術交流会 プログラム

主催：日本コンクリート技術株式会社

【開催日時】令和元年11月1日（金） 10:00～18:00（9:30受付開始）

【開催場所】第一ホテル両国 5階 『清澄』（東京都墨田区横網1-6-1 TEL 03-5610-5211）

大会プログラム

10:00～10:05	開会の挨拶 長瀬重義（東京工業大学名誉教授）
10:05～12:00	パネルディスカッション コーディネーター：久田真（東北大学大学院）
	テーマ コンクリート分野におけるITやAIとの上手な付き合い方
	概要 現在、我が国では「人間中心の社会づくり」を目指すSociety5.0の実現に向けて、あらゆる分野でイノベーションの機運が高まっています。建設分野においても、IT技術の導入やAI技術を活用した新しい建設への変革が強く求められており、コンクリート分野においても、IT技術の利活用が検討され始めています。今回のパネルディスカッションでは、産官学のそれぞれのお立場で活躍されているパネリストをお招きし、コンクリート分野におけるIT技術の導入に関する最新的话题を提供して頂き、IT導入の利点や課題などを掘り下げ、コンクリート分野におけるITやAIとの上手な付き合い方について議論します。
	パネリスト（所属） 話題提供のテーマ
	綾野克紀（岡山大学） 土木工学科で教えるIoTとAI
	片平 博（土木研究所） Society 5.0 を考える
	原田修輔（全生連） 生コン業界の現状と生産性向上への取り組み
	本間淳史（東日本高速道路） 発注者から見たIT技術活用の現状と課題
	横詰幸信（大成建設） コンクリート品質へのアカウンタビリティ ～ 施工者の立場から ～
	名倉健二（清水建設） ゼネコンのコンクリート工におけるICT技術の活用事例
	昼食（12:00～13:30）
13:30～16:20	パネル展示（出展社によるプレゼンテーションと展示ブースにおける個別説明）
	内容 コンクリート技術に関する最新情報の収集と情報交換を行う場を提供します。出展社（右のリスト参照）による保有技術のプレゼンテーション（各8分間）および各社出展ブースでの個別説明と質疑応答を行います。
	休憩（16:20～16:30）
16:30～18:00	特別講演（2題）
	講演1 舟橋政司（前田建設工業 ICI 総合センター インキューションセンター インキューショングループ長）
	タイトル 空想を、ともに現実へ。～ ゼネコンの新たな取組み ～
	講演内容 前田建設は今年創業100周年を迎え、次の100年に向けてICI総合センターを開設しました。社会課題解決につながる新たな価値創造実現に関するゼネコンとしての取り組みをご紹介します。
	講演2 村田和夫（建設技術研究所会長、建設コンサルタンツ協会名誉会長）
	タイトル 建設コンサルタントの現状と課題
	講演内容 わが国における建設コンサルタントの誕生、その制度や市場動向の現状を概観し、改正労基法施行を踏まえた働き方改革や各種課題について紹介します。
18:00～18:05	閉会の挨拶 篠田佳男（日本コンクリート技術 代表取締役）
18:10～20:00	意見交換会 第一ホテル両国『清澄』にて

■パネル展示：出展社と出展内容

No	出展社(50音順)	出展内容
1	愛知製鋼	コンクリート構造物の高耐久化・メンテナンス低減に貢献 ステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」
2	青木あすなろ建設	レベル1地震時は『固定効果』、レベル2地震時は『エネルギー吸収効果』を発揮する、 ダイス・ロッド式摩擦ダンパーを用いた既設橋梁の耐震性向上
3	アストン協会	コンクリート躯体防水材・表面保護材CS-21シリーズおよびデッキプレート合成スラブの品質向上を望む現場の声で開発されたスベーパー
4	安藤・間	固まり始める時点、発熱して温度変化する時点、吸水して成長する時点、初期過程のすべてにわたって十分な思いやりを！！
5	KSK	Jシステム ～赤外線法によるコンクリート表面の浮き・剥奪等の非接触調査～
6	コンステック	鉄筋の腐食度を迅速に測る「MULCO（マルコ）」 鉄筋を火災から守るPCM「EPC耐火モルタル」
7	太平洋セメント	太平洋セメントが拓くコンクリート技術
8	デンカ	できるをつくる。挑戦し続けるデンカの新技术
9	ニチバン	コンクリート構造物に発生したひび割れを補修する低圧注入工法について、補修材注入の際にひび割れ表面の目止めを行うシーリング材の代替となるシールテープ『せこたん TM』
10	PCM工法協会	床版・橋脚・トンネルの長寿命化なら、PCM（マグネライン）工法
11	フローリック	未来をカタチに変える創造力
12	前田建設工業	Mother of Innovation 空想を、ともに現実へ。
13	前田製管	自走式プレキャスト製品多機能据付工法「MAJEST（マジェスト）」でICT・建設現場の生産性向上に寄与します。
14	三井住友建設	「サスティンクリート®」は、超低収縮・超低発熱・超低炭素・高流動・高強度という特徴すべてを備えた、新しいコンクリートです。

■会場および交通手段



第一ホテル両国 案内図

- 【大会会場】
5階大宴会場『清澄』
- 【交通手段】
- ・JR総武線 両国駅
西口から徒歩8分
 - ・都営地下鉄大江戸線 両国駅
A3・A4 出口から徒歩2分

開会の挨拶

長瀧 重義 先生(東京工業大学 名誉教授)



司会

松田 敦夫(日本コンクリート技術)



パネルディスカッション

コーディネーター: 久田 真 氏 (東北大学大学院)

テーマ: コンクリート分野におけるITやAIとの上手な付き合い方



パネルディスカッション①

綾野 克紀 氏(岡山大学)

土木工学科で教えるIoTとAI



パネルディスカッション②

片平 博 氏(土木研究所)

ソサエティ5.0を考える



パネルディスカッション③

本間 淳史 氏(東日本高速道路)

発注者から見たIT技術活用の現状と課題



パネルディスカッション④

原田 修輔 氏(全生連)

生コン業界の現状と生産性向上への取り組み



パネルディスカッション⑤

橋詰 幸信 氏(大成建設)

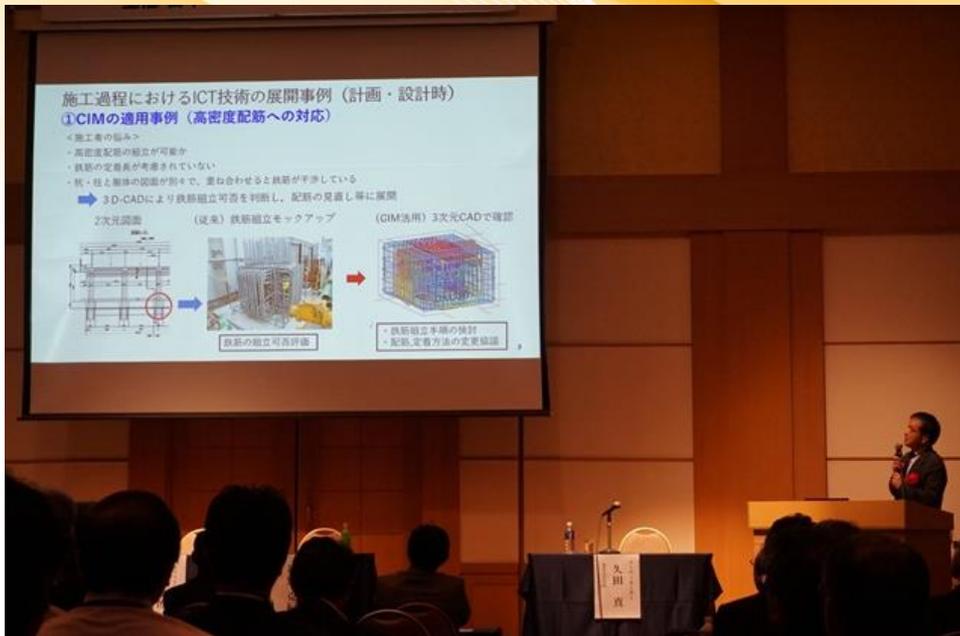
コンクリート品質へのアカウントビリティ
～ 施工者の立場から ～



パネルディスカッション⑥

名倉 健二 氏(清水建設)

ゼネコンのコンクリート工におけるICT技術の活用事例



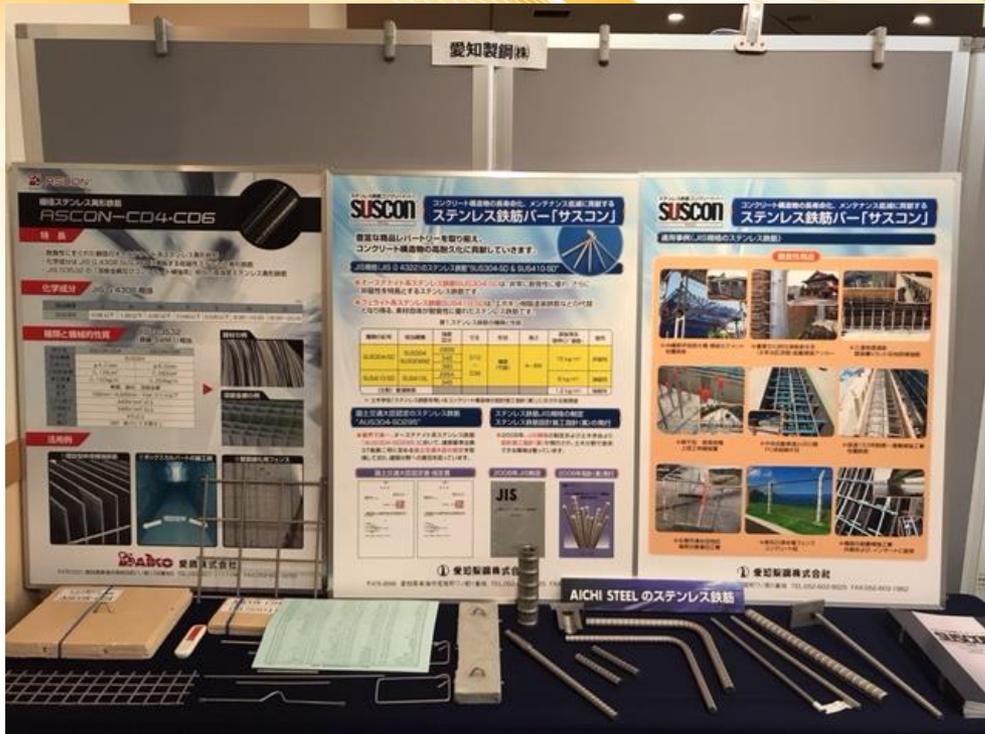
パネルディスカッション



パネル展示①

愛知製鋼

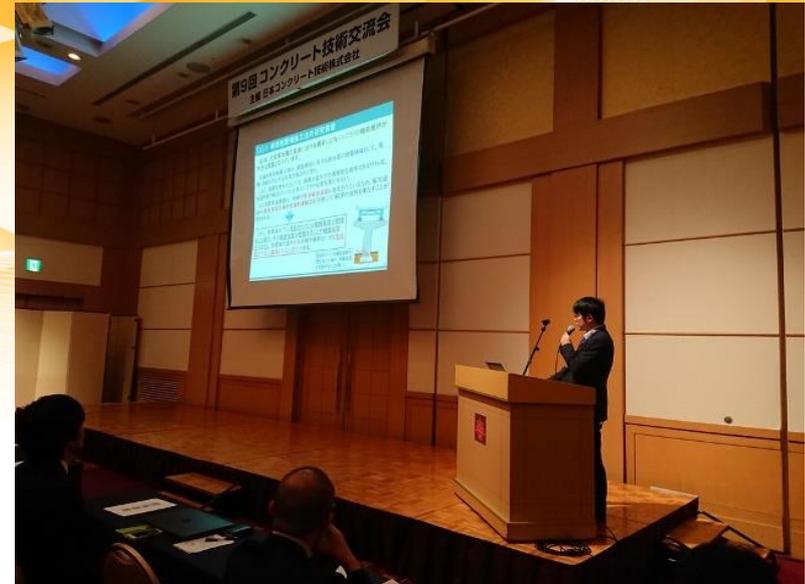
コンクリート構造物の高耐久化・メンテナンス低減に貢献
ステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」



パネル展示②

青木あすなる建設

レベル1地震時は『固定効果』、レベル2地震時は『エネルギー効果』を発揮する、ダイス・ロッド式摩擦ダンパーを用いた既設橋梁の耐震向上



パネル展示③

アストン協会

コンクリート躯体防水材・表面保護材CS-21シリーズおよびデッキプレート合成スラブの品質向上を望む現場の声で開発されたスパーサー



パネル展示④

安藤ハザマ

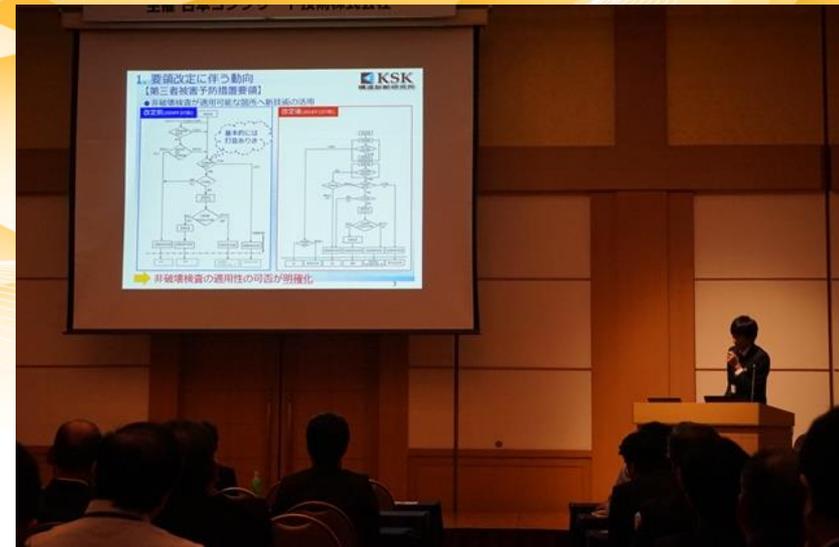
固まり始める時点、発熱して温度変化する時点、吸水して成長する時点、初期過程のすべてにわたって十分な思いやりを！！



パネル展示⑤

KSK

Jシステム ～赤外線法によるコンクリート表面の浮き・剥奪等の非接触調査～



パネル展示⑥

コンステック

鉄筋の腐食度を迅速に測る「MULCO(マルコ)」
鉄筋を火災から守るPCM「EPC耐火モルタル」



パネル展示⑦

太平洋セメント

太平洋セメントが拓くコンクリート技術



パネル展示⑧

デンカ

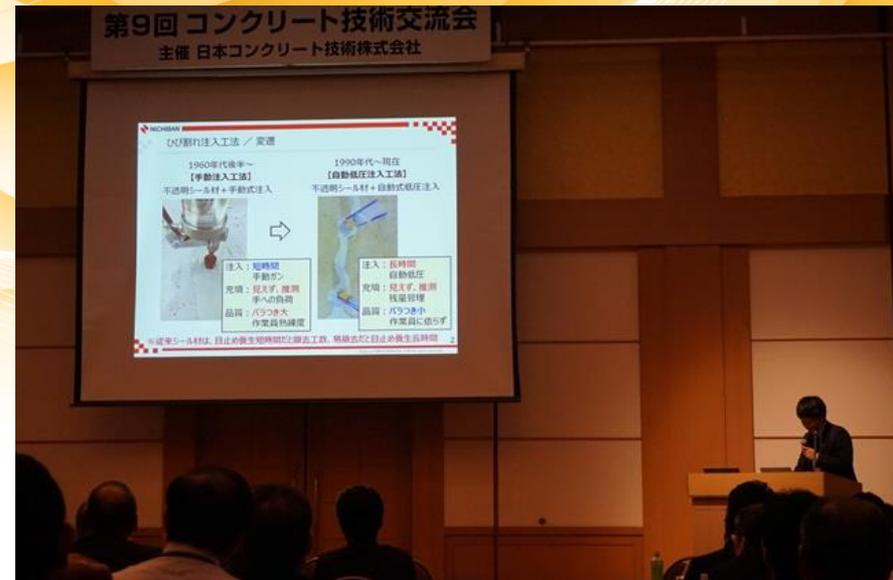
できるを作る。挑戦し続けるデンカの新技术



パネル展示⑨

ニチバン

コンクリート構造物に発生したひび割れを補修する低圧注入工法について、補修材注入の際にひび割れ表面の目止めを行うシール材の代替となるシールテープ『せこたんTM』



パネル展示⑩

PCM工法協会

床版・橋脚・トンネルの長寿命化なら、PCM(マグネライン)工法



パネル展示⑪

フローリック

未来をカタチに変える創造力



パネル展示⑫

前田建設工業

Mother of Innovation 空想を、ともに現実へ。



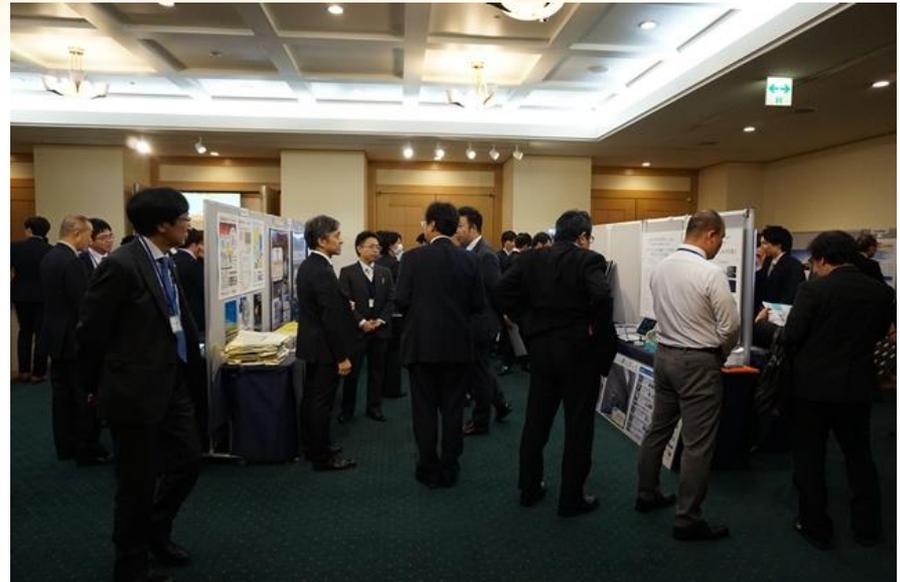
パネル展示⑬

前田製管

自走式プレキャスト製品多機能据付工法「MAJEST(マジェスト)で
ITC・建設現場の生産性向上に寄与します。



パネル展示の様子



特別講演1

舟橋 政司 氏(前田建設工業)

『空想を、ともに現実へ』 —ゼネコンの新たな取組み—



特別講演2

村田 和夫 氏(建設技術研究所)

『建設コンサルタントの現状と課題』



閉会の辞

篠田 佳男(日本コンクリート技術)



意見交換会



意見交換会

開会の挨拶・乾杯



意見交換会

歓談の様子



意見交換会

歓談の様子



意見交換会

中締め



本会の無事終了への感謝と、皆様の御健勝を祈念して万歳三唱！